

親子で楽しむ ファミリーアニメを制作



私のこだわりものづくり

どが
シンエイ動画株式会社

うめ ざわ みち ひこ
梅澤道彦 代表取締役社長

昭和31年9月東京生まれ
平成24年7月に社長に就任

◆住所:西東京市田無町3-9-21
◆電話:042-465-7020



①2014年公開の映画「STAND BY ME ドラえもん」では、第38回日本アカデミー賞最優秀アニメーション作品賞を受賞した②西東京市の人気のマスコットキャラクター「いこいーな」もシンエイ動画が制作した③ドラえもん色の本社ビル



② いこいーな ©シンエイ/西東京市

世界の子供から愛されるアニメを作り続けて半世紀

「ドラえもん」や「クレヨンしんちゃん」など、人気アニメを制作するのは、西東京市田無町に本社を置く、シンエイ動画株式会社（梅澤道彦社長）だ。

創業は昭和40年、テレビアニメの草創期に大活躍した楠部大吉郎氏が「エイプロダクション」として創立。TBS系のアニメ制作会社「東京ムービー」（平成5年に解散）のアニメ制作部門を一手に引き受け、「オバケのQ太郎」「天才バカボン」などのヒットアニメを数多く手掛けた。しかし、受託業務に限界を感じ、自社で企画・制作しようと中野坂上から田無市（現西東京市）に移転した後、昭和51年、「シンエイ動画」に改組。以来、先述の「ドラえもん」、「クレヨンしんちゃん」の他、「怪物くん」、「忍者ハットリくん」、「ゲームセンターあらし」、「パーマン」、「新オバケのQ太郎」、「美味しんぼ」、「笑ゥせえるすまん」など次々と人気アニメを生み出してきた。

平成17年に創業者の楠部大吉郎氏の逝去により、弟である楠部三吉郎氏が社長に就任。資本提携関係にあったテレビ朝日が株式を追加取得。平成22年10月にテレビ朝日の100%子会社となった。平成24年7月に社長に就任した4代目の梅澤社長は、テレビ朝日出身。

「私は平成17年からテレビ朝日で映画センター長となり、日曜洋画劇場や邦画の制作、特撮もの、アニメの統轄をしていました。楠部三吉郎氏とはその前の編成時代からの付き合い。正義感が強く、筋を通す人でした。シンエイ動画は親子で安心し

て見られる「ファミリーアニメ」を一貫して作り続けていました。ブレないところに「グスバイズム」を感じていました」と梅澤社長は創業者を振り返る。

◆ 現在、シンエイ動画は、テレビ朝日が地上波で放送するアニメや劇場公開映画の制作だけでなく、CS・BSへの配給、DVD販売、ネット配信、海外への販売などを手掛ける。東南アジアは、かつての日本の高度成長期の様相を呈しており、成長率も高く、子どもが多い。同社が作る「ファミリーアニメ」は多くの国から引き合いがあるという。さらに、CG制作にも着目している。

「2014年夏に公開した『STAND BY ME ドラえもん』は3D・CGで制作して大ヒットしました。アニメと違ってCGは大人も楽しめる。最初にドラえもんをテレビで見た人は今や40代ですが、親子やカップルで楽しめると好評で、新たな手応えを感じました」と語る。

「これからも創業者からのファミリーアニメ路線を堅持していきたい。同時に、CGや海外販売など、新たな経営環境にも積極的に対応していきたい。さらに、ドラえもん、クレヨンしんちゃんに続く、ヒット作も生み出したい」と梅澤社長。

また、「日本のアニメの草分けである東映アニメーション（旧東映動画）が練馬区大泉にあり、手作業・手渡しが主流のアニメ業界の特性から、西東京市など近隣にアニメーターや制作会社が集約しました。この地域にアニメセンターやアニメファクトリーがあってもいいかもしれませんね」と、西東京市とアニメの「夢」も語った。